

令和4年度 第2回都島区区政会議 会議録

1 日時 令和4年10月11日（火）午後7時～午後8時25分

2 場所 都島区役所 3階会議室

3 出席者

（区政会議委員）

池田委員・猪原委員・江川委員・熊本委員・高田委員・高野委員・谷委員・中口委員・中山委員・濱崎委員・早光委員・平野委員・山田委員

（市会議員）

八尾議員

（都島区役所）

大畑区長・土居副区長・吉村総務課長・三井政策企画担当課長・松井まちづくり推進課長・細谷防災地域活性担当課長・高田窓口サービス課長・世古口保健福祉課長・清原こども教育担当課長・坂下健康推進担当課長・筒井生活支援担当課長

4 議題

- (1) 部会からの報告
- (2) 令和5年度の事業内容について
- (3) その他

5 会議次第

- (1) 開会（大畑区長挨拶）
- (2) 議事

【吉村課長】

皆様、こんばんは。委員の皆様には大変お忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。これより令和4年度第2回都島区区政会議を始めさせていただきます。私は、本日の司会を務めさせていただきます総務課長の吉村でございます。よろしくお願いいたします。それでは初めに、区長の大畑よりご挨拶させていただきます。

【大畑区長】

どうも皆様、改めまして、こんばんは。区長の大畑でございます。平素は、本当に市政、区政全般にわたりましてご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。

また、本日は大変お忙しい中、委員の皆様におかれましては区政会議にご参加いただきありがとうございます。す。

また、市会対応が大変お忙しい中、本日、八尾先生にもお越しいただき本当にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

9月には、まちづくり・魅力部会、この後報告ありますが教育・子育て部会の両部会も開催でき、9月24日にはおかげさまで3年ぶりに区民まつりを開催することができました。久しぶりに大きなイベントということで、たくさんの区民の皆様の笑顔を見ることができ、大変うれしく思っております。

大阪市の新規コロナの感染者の状況も1日500人程度と、かなり落ち着いてきた状況ではあります。また、大阪府の病床利用率も7日連続20%を下回り、ニュースでもご覧になっていると思うんですが、吉村知事が3か月ぶりに大阪モデルを黄色信号から緑信号に変更されました。いよいよ地域も様々な活動が本格的に動き出していく時期に入ってきたというふうに思っております。

本日の全体会議では、次年度の事業案のご報告に加え、次年度予定されています都島クリーン作戦や区民まつり、また、水辺のにぎわい祭りなどについて、ご意見、アイデアをお聞かせいただければ幸いと存じます。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

【吉村課長】

ここで、会議の進行につきまして委員の皆様をお願いがございます。議事録等の作成のため、事務局で会議の様子を録音、撮影させていただいております。また、本日の会議はインターネット配信を行っております。以上、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

それでは、定員数の確認をさせていただきます。本日の会議には、委員定数18名のうち13名が出席されていますので、定足数を満たしておりますことを報告いたします。

また、伊藤委員、西村委員、前田委員、鷹取委員、彦坂委員におかれましては、本日ご欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。右肩に資料1と記載しております第1回各部会からの報告、右肩に資料2-1と記載しております令和5年度事業案、右肩に資料2-2と記載しております令和5年度事業内容について、特に右肩に記載はございませんが、都島区将来ビジョン2025概要版、右肩に参考資料2と記載しております令和4年度予算事業一覧、そして区政会議に関するアンケートが3枚ございます。以上が本日の資料となります。そろっておりますでしょうか。お持ちでない方がいらっしゃいましたら、お配りいたしますので、挙手をお願いいたします。

なお、区政会議に関するアンケートにつきましては、この会議が終了した後に回収させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、本日ご出席の議員の方をご紹介します。

大阪市会より八尾議員でございます。

なお、大阪市会、岡田議員、大西議員、大阪府議会、魚森議員におかれましては、本日ご欠席のご連絡をいただいております。

それでは、これより高野議長に議事運営をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

【高野議長】

皆さん、こんばんは。これより、ご指名がありましたので、議事運営を私のほうで進めていきたいと思いません。

それでは、議題に入ります。議題（1）部会からの報告についてです。まず、まちづくり・魅力部会から早光部会長にご報告をお願いします。早光さん、よろしくお願いします。

【早光副議長】

まちづくり・魅力部会の早光でございます。よろしくお願いします。

9月13日に第1回まちづくり・魅力部会を開催いたしました。その内容について、お配りの資料1の中に記載されておりますが、一応ご報告させていただきます。

我々、2点について話し合いました。まず、1、区民広場における魅力発信イベントについてということで、新たにつくりましたぼっぽてらすを活用して何かできないかというふうなことに對して、主なご意見が、かまどベンチを活用してプロの料理人がおいしい食事を提供したり、あるいは防災食をおいしく食べる機会を行えないかというふうなことをやりました。これは、子どもたち、あるいは親御さんに防災について、こういうことができるんだよというふうなことをアピールしようといった内容でございました。

次に、キッチンカーを呼び幅広い世代が楽しめるイベントはどうかということで、あそこでキッチンカーを幾つか可能でしたら用意していただいて、そのときに何かイベントと一緒に併せてやっていこうというふうな話でございました。その中のテーマとして、この下の音楽やダンス、紙芝居など、コミュニティ育成の観点でそれぞれの世代、子どもたち、子育て世代、それ以上、高齢者と言っていいのかわかりませんが、年配の方が楽しめるようなことも一緒に企画して、各層にいろいろ楽しんでいただこうといった考えでご意見が出ました。

この下の「踊ってみた」は、これはいろいろダンスチーム、あるいは子どもたちですけれども踊っていただいて、それを撮ってSNSで配信してみましよう。それをぼっぽてらすをバックにして撮って、それを配信してユーチューブなりSNSで流せば、よりぼっぽてらすのアピールができるのではないかというふうなことのご意見でございました。

次に、2点目、「安全・安心なまち都島」の発信についてということでございまして、ちょっとこれは漠然と、具体的にはちょっとなかなかまとまりづらいとか、まとめづらいテーマでしたけれども、まずは2025年の大阪・関西万博の開催を控え、区内外に安全・安心なまち都島をアピールするために、地域で行われている安全・安心を守るための取組についてということでご意見をいただきました。

主なご意見として3点ご報告させていただきます。まず、青少年指導員や警察と協力して定期的に巡視を行っており、これはすごくよい取組だと思っているという評価をしていただいたということだと思います。次に、前のテーマと重複するかもしれませんが、地域主催の防災ワークショップを実施したが、参加者を集めることができなかつた。工夫ということで、これは高野議長の地区の話が例として出まして、やはり主催者が開催しても、主催者に近い人しか参加できなかったということで、もう少し皆さんが参加できて防災意識を高めることはできないかという一つのご提案でございました。3点目ですけれども、ボランティアによる商店街や放置自転車パトロールを実施しているが、パトロールが終わるとすぐに客引きが増えている。やり方の検討

が必要だと。これは、安全・安心なまち都島で毎回、3年ぐらい出ているテーマだと思うんですけども、放置自転車のパトロールは大分実施の効果があると思うんですけども、商店街というか京橋駅周辺の客引きについての問題は、これも非常に苦情が出ていまして、子どもたちとか強引な客引き、パトロールしていただくんですけど、そのときはぱっとクモの子を散らすように消えてしまうんですが、またぞろ出てきて、いたちごっこみたいになっているので、これを何とかもう少し抑制できたらいいなというふうなご意見をいただいております。

以上、簡単ですけども、まちづくり・魅力部会のご報告とさせていただきます。ありがとうございます。

【高野議長】

まちづくり・魅力部会の早光部会議長、ありがとうございます。

この後、意見とご質問等は、続いての教育・子育て部会のご報告を受けた後、まとめてお時間をいただきたいと思います。

では続いて、教育・子育て部会から、江川部会議長にご報告をお願いします。マイクを回しますので、よろしくお願いたします。

【江川委員】

教育・子育て部会議長の江川と申します。よろしくお願いします。

9月16日に専門部会が行われたんですけど、そのときの内容はここに書いているような、子どもが増えているのに子ども会に入る子どもが少ないとか、子どもの居場所が少ない、イベントが少ないとか、都島区は基本的に今ちょっと見ても少ない、今、社協さんのところに入っている団体だけでも6団体で7か所しかないという状態なので、そういうところをまた増やしていったりとか、区役所としても認識してやっていくために、子どもの居場所づくりの連絡会をつくっていききたいという話が出て、そっちのほうは私自身が6年間子ども食堂を2か所やっているんで、この次の日にすぐ動いて、今5団体つながって、4団体ともLINEグループをつくって、連絡会をつくった上で、あと大東町でまた一つ子ども食堂が始まるみたいなので、そこも入ってもらおうかなと思っています。

全体流して、前のときにも話したと思うんですけど、小学生の居場所づくりはすごく多いんですけど、今、多感な時期の中学生の居場所が少ないというのを前からずっと言っていて、何かこれをしていきたいというのが、ここにも書いているとおり、これから連携してそういうところもつくっていったらというのが話に出ました。これは実際まだ何も形にはなっていないんですけど、今ヤングケアラーという言葉が出てきているので、またそういうところにも目を向けて、これから部会で話をつくっていききたいなと思っています。

教育・子育て部会から報告は以上です。

【高野議長】

江川部会議長、ありがとうございます。

ということで、今、まちづくり・魅力部会と、そして教育・子育て部会から、前回の部会の報告をしていただきました。

今報告いただいた内容について、何かご意見やご質問、また前回出席された方でも、何かさらにアイデア、意見、逆の部会等、ご質問ございましたら挙手をお願いいたします。マイクのほうをお回しします。

特に今なさそうですので、また後ほどお時間あるようでしたら挙手いただいてもいいんですが、今ございませんということなので、次の議事に移りたいと思います。

議題（2）です。令和5年度事業内容について、事務局より、まずは令和5年度の事業案の説明をお願いいたします。

【三井課長】

事務局の政策企画担当課長の三井でございます。失礼して座らせていただきます。

私のほうから、資料2-1、令和5年度事業案についてご説明いたします。

まず、この資料は、令和5年度事業案の概要と、区政推進の3つの柱、それぞれの主な内容について記載しております。対象となる事業の範囲が広がるございますので、区政会議委員の皆様からは、主に次の資料2-2、令和5年度事業内容でお示しします事業についてご意見をいただければと考えております。

それでは、資料2-1のご説明でございます。

まず、1ページ目、令和5年度事業の基本的な考え方ですが、引き続き「幸せになれるまち、都島区」を目標として、下のほうに記載しております安全・安心のまちづくり、人と人がつながり、助け合うまちづくり、明日に誇れるまちづくりを3つの柱とし、それらを支える形で、窓口サービスの向上など、区役所力の強化を図ってまいりたいと考えております。

次の2ページ目でございます。安全・安心のまちづくりですが、防災、防犯、環境美化について記載しております。現状・課題の項で示しておりますとおり、防災につきましては、災害時の備えが十分でないこと、防犯については、防犯に係る啓発の強化、環境美化についても、さらなる取組強化が必要と認識しております。

その対策として、右側、事業の方向性では、防犯・防災意識を高めるための啓発や効果的な情報発信をすることとしており、具体的な取組案としては、防災では、特に支援が必要な高齢者や子育て層への啓発、もしくは地域防災活動への支援を、防犯では、青パト巡回や警察と連携した防犯啓発、様々な媒体での防犯情報の発信などに取り組むこととしております。また、環境美化では、環境美化活動に加え、客引きの適正化など、安心・安全のまちづくりを進めることとしております。

ページの下には、具体的な取組について、写真と共に例示しておりますので、ご参照ください。

次の3ページですけれども、人と人がつながり、助け合うまちづくりでございます。後ほど資料2-2でお示します区民まつりなどによる地域コミュニティの推進や、生き生きと健康に暮らせる福祉のまちづくりなど、幅広い内容が含まれます。中でも、近年、子育て支援についてのニーズが高まっておりますことから、その内容をここに掲載しております。

まず、現状と課題ですけれども、現状として、健診、訪問、イベントなどを通じて相談機会を増やしたり、発達障害などにより支援を要する児童生徒やその保護者への支援を行うため、臨床心理士の増員など、相談体制の充実を図っております。

右側、事業の方向性ですが、引き続き相談支援を進めることとしておりまして、具体的には、取組案で記載しておりますように、身近な相談場所の周知、イベントへの参加促進、臨床心理士などによる相談支援を実施することとしております。

下の写真は、子ども・子育てプラザで開催している子育てイベントの様子ですけれども、相談支援員が赴き、

声かけをすることで、相談しやすい環境づくりに努めております。

最後、次の4ページ、明日に誇れるまちづくりですけれども、魅力あるまちづくりと、未来の都島を担う人材育成を掲げております。魅力あるまちづくりにつきましては、歴史文化や水辺などの区内の魅力を十分に周知できていない点を課題としております。参考に、桜ノ宮ビーチの利用者数を掲載しておりますけれども、特に令和2年、3年は、コロナの影響でイベントがあまり開催できなかったこともあり、利用者数が減少しております。

下に事業の方向性などを記載しておりますけれども、コロナも落ち着きを見せておりますので、イベントなどを通じて区内の魅力発信を強化することとしており、具体的には、広報紙やSNSを活用して区内の魅力発信を行うとともに、ビーチでのファミリーイベントやスポーツイベントなどを開催することとしております。下の写真の横にも書いておりますが、今年6月、10月に砂遊びイベントを実施いたしました。100名定員のところ500名近い申込みがあり、区内の魅力スポットの一つである桜ノ宮ビーチの周知に役立っているものと考えております。

右側、未来の都島を担う人材育成ですが、平成28年度の調査結果にありますように、小中学生のアンケートで、嫌なことや悩んでいることがあるとき、誰にも相談できない、ふだん放課後ひとりであるという割合が市平均より高く、子どもたちの支援が必要な状況がうかがえます。

そこで、事業の方向性に記載しておりますように、学校や地域団体等とも連携して、学習支援も行う子どもの居場所づくりを推進することとしており、下の写真にありますように、各小学校区に一つずつ、学習支援や悩み相談を行う居場所を設置しているところでございます。

このように、令和5年度につきましても様々な課題解決を図り、引き続き取組を進めていくこととしております。

資料2-1の説明につきましては以上でございます。よろしくお願いいたします。

【高野議長】

ありがとうございました。事務局の三井課長より、令和5年度の事業案の説明をお願いしました。

今ご説明いただいた、そしてお手元資料2-1に当たります令和5年度事業案について、不明な点などございましたらご質問いただければと思います。いかがでしょうか。

では、続きまして、今の令和5年度事業内容のうち、委員の皆様から特にご意見、アイデアをお聞かせいただきたい3つの事業があります。それについて、引き続き事務局より説明をお願いいたします。

【三井課長】

ありがとうございます。引き続き、事務局の三井から説明させていただきます。

資料2-2、令和5年度事業内容につきまして、先ほど資料2-1で令和5年度事業の概略をご説明いたしました。区政推進の3つの柱である安全・安心のまちづくり、人と人がつながり、助け合うまちづくり、明日に誇れるまちづくりから、それぞれ代表的な事業を抽出して掲載し、これらの事業につきまして、より効果的な事業とするためのご意見やアイデアをいただきたいと思っております。

1つ目、安全・安心のまちづくりでは、環境美化の推進、都島クリーン作戦を挙げております。記載しておりますように、ボランティア清掃の活動を通じたコミュニティ育成が目的でございます。

2つ目の人と人がつながり、助け合うまちづくりからは、地域コミュニティの推進、都島区民まつりを挙げております。実行委員会を設置され、区民の方々などが企画、運営、広報を担うことで、コミュニティの育成などにつなげることを目的としております。

3つ目の明日に誇れるまちづくりとしては、水辺のにぎわいづくり、親子で楽しむ砂遊び広場を挙げております。このようなまちなかに人工のビーチがあることは珍しく、砂の質もよく、都島区内の大きな魅力スポットと考えております。また、ここに挙げております砂遊び広場は、同志社大学やおもちゃ会社との連携により実施しており、非常に人気を博しているイベントですけれども、準備、運営に人手がかかるため、度々開催することは困難であるという課題もございます。

簡単ですけれども、以上3つの事業につきまして、委員の皆様のご意見、アイデアをいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

【高野議長】

ありがとうございました。今、3つの事業に絞って、特にご提案いただきたい点について事務局よりご説明いただきました。では、この3つの事業について、何かご意見やご質問はございませんでしょうか。挙手にてお願いいたします。環境美化について、もっとこうしたほうがいいのではないかとか、3年ぶりの都島区民まつりも行われましたが、それについての感想、もっとこういうイベントをしたらよくなるのではないかと、あるいは皆様のお住まいの地域のイベントや催し事についてのご意見とかご提案、またはビーチ、コロナで2年間は減ったというご報告もありましたけれども、そちらが収まってきていますので、もっと発信していくアイデアであるとか、あるいはこういったイベントをビーチで活用したらいいのではないかと、どんな意見でも構いません。また、これだけでなく、時間のほうは今たくさんある状態ですので、先ほどの事業案であるとか、またほかのことについてもこの時間にご質問いただければと思います。

では、江川委員より挙手がありましたので、マイクをお回しいたします。

【江川委員】

ちょっとまとめて2点言わせてほしいんですけど、1つ目は、ぼっぽてらすは区役所の管理下と言っていたんですけど、このビーチもそうなんですか。これも区の権限でイベントができるのかどうかというのが知りたいのと、あと、この都島クリーン作戦って京橋公園のやつですよ、たしか。多分これ、私も出ているんですけど、私自身が見ていて、ちょうどどこかの野球の子どもがいっぱい来ていて、子どもがいっぱいごみを集めて楽しんでたのもあったので、例えばほかの地域でやっている、ハロウィンでやっている、ごみを集めて、ごみの重さで勝負するとかもありますし、私自身が世界ポイ捨て吸い殻アート協会の京橋支部長というのをやっていて、今コロナでやめていたんですけど、ごみを拾って、吸い殻のごみとかで、トングで並べて絵を描いたりするんですけど、それを世界中に発信しているんですけど、そういうのを一緒にイベントでやったら、コロナのときに人が吸ったたばこかたが汚いというので、ずっとその活動もやめていたんですけど、子どもたちもそういうので絵を描いたりとかしたら、それをみんなで写真を撮ったりして、それを勝負するというか、そういうので何かやったら面白いかなと。チームごとに何かやったりできたら、もっとごみを拾って、もっと重みが欲しいからもっといっぱい拾おうとか、この絵を描きたいから、大きいのが欲しいから、たばこをもっと拾っていかうとか、そういうことができると思うので、何かそういうごみを拾うということがメインじゃなく、

楽しむことに持っていけたら、メインと違うかもしれないですけど、環境美化とコミュニティをつくるというのには合うかなと思いました。

【高野議長】

ありがとうございました。今ご質問のあった2点について、お答えいただける部署の担当者の方、今マイクをお返ししますのでお答えいただきたいと思います。

【三井課長】

まず1点目です。ビーチの管理につきまして、政策企画担当課長、三井でございます。

ビーチのほうは、大阪府が開発しまして管理しているところでございます。ただ、大阪府もその利用、活性化を図るということで、その魅力づくりというのに取り組んでおられますし、区役所もそれと一緒にいろいろなイベントを誘致したり、これまでも活性化について取り組んでいるところでございます。

以上でございます。

【高野議長】

2点目について、細谷防災地域活性担当課長、お答えいただきます。お願いします。

【細谷課長】

細谷です。

江川委員のおっしゃってくださった、5月21日、京橋公園で今年、いつもならば3か所で、京橋公園と大川の大川端と毛馬桜之宮公園、大川端と淀川のほうで、3か所でやらせてもうているんですけども、この春についてはコロナもあって、取りあえず1か所でやってみようということで、1か所だけやらせていただきました。江川委員も、たしかお子さんのスイミングの迎えに行く前に寄るわと言って寄ってくださって、どうもありがとうございました。

ちょっと経過を申しますと、去年、おとし2年間、コロナの影響もあって開催できませんでした。その前でいいますと、順にいきますと平成29年は3か所で2回やろうと思ったんですけども、秋のほうは台風でできなかったんですけども、ちなみに、29年の春の段階のやつは3か所で359名集まっていたしまして、ごみについては4,260リットル、たくさんのごみを集めていただきました。30年、令和元年は3か所、2回やっていたんですけども、どちらもたくさん集まっています。400人とか250人とか集まっています。元年については一番多くて428名ということになっております。ちなみに今年度秋は、もうチラシのほうも刷り上がっているんですけども、11月19日、同じく3か所、淀川の蕪村公園の蕪村碑の前の集合のやつと、京橋公園の集合のやつと、毛馬桜之宮公園、リバーサイドホテルの下辺りの集合ということになっておりますけれども、3か所集まって開催したいと思っております。過去に負けず、400人ぐらい集まっていたらなと思っております。皆さんもどうぞご参加いただければなと思っております。

江川委員のおっしゃっていただきました春の時点では、京橋公園にはライガーズという少年野球のチームが参加してくれました。この少年野球のチームについては、毎月やっています大川片付け隊の清掃にも参加してくださっています。

ちなみに、過去のクリーン作戦ですけども、桜宮高校のボート部であるとか各クラブの子たちがいろんなところ、大川であったり淀川であったり、参加して下さったりしていますので、大変ありがたいなと思っ

ます。江川委員の言っているいろいろなチームがそうやって集まってくれはって、楽しくごみを集めればなとも思っております。

我々一番苦慮しているのが、当日、天気とかそんなこともありまして、どれだけ集まってくれはるのかなというのがいつも苦慮しています。広報紙であるとかSNSであるとか、いろいろな会議の場でやりますから来てますねと言うてますけれども、ぜひ、江川委員のたばこを集めてSNSで発信するとか、そんなことも連携させていただきつつ、区民間のコミュニケーションの一つになればなと思っております。もちろん地元企業にも声をかけておりまして、NTTであるとか、この間は第一生命さんとも話をさせていただいたんですけれども、そんなところも来てちょうだいと。大阪市と包括連携を組んだりしている企業もありますので、そんなところについてはウィンウィンの関係と言ったら何なんですけれども、例えば第一生命のであればはっぴでも着て派手に楽しく来てくれたらなとも思っております、いろいろな方策を取って楽しくごみを集めていきたいなと思っております。

そんなところですけども、よろしくお願ひします。

【高野議長】

ありがとうございました。2点について担当部署にお答えをいただきました。

ほかに、この3点についてなど、いかがですか。

早光副議長より挙手がございましたので、マイクのほうをお回しいたします。

【早光副議長】

早光です。

この中、2番の地域コミュニティの推進ということで、都島区民まつりと。先ほど区長が言われましたけれども3年ぶりの開催ということで、私ども、地域のコミュニティから3年ぶりに出店させていただきました。出店者側、そしてある団体、保護司会も啓発活動でブースをいただいて出しております。この3年ぶりの開催ということで、私ども地域のほうは食べ物の出店、飲み物の出店をさせていただいたんですが、実は3年たつと、諸先輩方の記憶が曖昧なんです。記憶が曖昧なのと、記録もアナログ記録で、我々、次の者につながる——ちょっと一から出店でいろんなことを準備する必要があったと。多分、来られている方、楽しみにされている方は、やっぱり私らもリハビリ開催とあって、取りあえず今年はお店することに重きを置こうと。それで、できなかつたことは来年につなげていけばいいなということで開催したんですけども、ここにいらっしゃる各地区の団体の方も、それぞれ地区でいろんな出店とか参画されていると思うんですけど、それについて、もし、今年こんなことができなかつたので、来年、再来年、こういうことをつなげていこうというふうなご意見がありましたら、出店の1人として、1団体として、また皆さんのご意見いただけたら幸いと思うんですけど。よろしくお願ひします。

【高野議長】

今、早光さんからご質問、あるいは提案をお願いしますというようなお話があつたんですけども、皆様の地域におかれまして何かご意見等ございましたら、この機会にお願ひいたします。

では、猪原委員、お願ひいたします。

【猪原委員】

区民まつりは、都島区商店街連盟として出店しておりました。毎年、子どもさんに向けた風船というか、風船といってもぷーっと膨らますようなのじゃなくて、ビーチボールみたいな風船を、当たりだったら大きいお人形さんのぬいぐるみみたいな大きな風船と、外れても当たるように小さい風船とさせていただいたんですけども、今年も820名ぐらいの方が来ていただいて、大変暑い中並んでいただいて、本当に申し訳なかったなと思うんですけども、雨が降っていたので、うちのところのブースは芝生のところだったんですけども、下がすごく足場が悪くて、寸前までちょっとどうなのかということだったのであれなんですけれども、ミミズがいっぱい出てきて子どもたちが大騒ぎやったんですけども、それはそれで自然と戯れていいのかなと思ったんですけども、足場がすごく悪いときって、応急処置で段ボールを敷いてやったんですけども、そんなのでちょっと皆さんにご迷惑をおかけしちゃったんじゃないかなということと、いつも大変並んでいただいて、暑いからかわいそうになって、どんどん皆さんに来ていただくと早く終わっちゃって、行政の方に怒られるんですけども、今年も3時過ぎには終わってしまって、なのでちょっと時間配分とかがこれから課題かなと団体としては思っています。

あと、2年休んでいたんですけど、それですごく子どもさんは喜んでくれているんですけども、次回、来年、再来年、もうちょっとネタが尽きていまして、ちょっとまた考えていかないかなかなというところと、あとボランティアさんがやっぱり、いつも20名ぐらい商店街さんから来ていただいているんですけども、人の確保がいつも大変な感じなので、その辺どういうふうにしていこうかというのは、また今後考えていくところかなと思っています。

以上です。

【高野議長】

ありがとうございました。

松井まちづくり推進課長から。

【松井課長】

まちづくり推進課長の松井でございます。

今、猪原委員におっしゃっていただいたことにつきましては、本当に当日、前日まですごく雨が降って、だんだん天候はよくなっていったんですけど、商店街さんがいつも使っていただいているところは、天気がいいときには日陰になってすごくいい場所なんですけど、たまたま雨が降ったときには、本当に今おっしゃっていただいたようにぬかるんだような形で、当初ご迷惑をおかけしたということは、本当に申し訳なかったと我々思っております。そういったご意見については私のほうでも多々お伺いしております、来年度以降、天候についてはどうしようもないので、商店街さんのところはいつも区民まつりの中の名物的なところの出店というところもあるので、来年度は少し場所も含めて、どこに出店していただくのかというふうなことも、実行委員会を開催させていただいた折にご相談させていただいて決めさせていただければというふうに我々的には考えております。

あと、おっしゃっておられた風船が15時過ぎにはもう終了してしまっただけなんですけども、これも時間を、午前は何時スタート、午後は何時スタートというふうに分けてやるようなことも、当初はお考えもいただいていたみたいなんですけど、今回はそのままやっってしまうというふうなことでお伺いしております。ですので、今回いただいた

課題につきましても踏まえまして、またその辺重々、我々区役所職員も一緒になって、よりよき盛り上げていけるようなイベントを今後一緒になって考えさせていただければなと考えておりますので、どうかよろしくお願いたします。

【高野議長】

今のご提案、ご質問に対する松井まちづくり推進課長よりのお答えでした。ありがとうございます。

そのほかございましたら。では、中口委員、お願いたします。

【中口委員】

区民まつりの続きなんですけど、今回、区民まつり、皆さんパンフレットをもらいましたね。これの配り方というのを、どんな配り方をされていますか。各地域。それを一つ聞きたいのと、それと、都島はみんなテントも色とりどりというか、ちゃんと赤と青のがずつつながっていて見栄えがよかったですけど、そのお金について、各地域ごとに金を払わなあかんというのを僕知らなかったんです。区民まつりやから、区の予算でやってくれていると思った。それで、ほかの区をちょっとちらちらと見に行ったら、自分のところの何とか連合とか、小学校PTAとか、そんなのがざっと、ばらばらなので、うちのところはきれいになっているなと思ったんですけど、それが逆に各連合なり地域に請求されているというのを初めて知ったんですけど、その地域に請求しているところは、どこに請求しているのか。地域活動協議会なのか連合なのか。この区民まつりの会場マップは全部、都島は各地域活動協議会、まちづくり協議会で全部統一しているので、こっちなのかなと思ったんですけど、僕のところの地域活動協議会、今まで僕、会計5年やっているけど1回も払ったことなかったの、何でやねんということをやちょっと気がついたですよ。ほかの区に行ったらおかしいなと思って、ちょっと隣の区に行ってきたんですけど、子ども会じゃなくて、茨田東というところやったら連合振興町会が主催です。それから、緑やったら社会福祉協議会、それでNPO法人、地域活動協議会とか、各連合ごとで全部ばらばらなんです。都島は全部地域活動協議会で統一しているから、昔からどないかなっていたのかなと思っていたんですけど、僕のところの地域活動協議会だけが何かのけものにされていたのかというのがちょっと分からないので、各地域、9つあったらどんな対応になっているのか聞きたいなと。

それで、今回、開催のときに副市長が今度の25年の万博云々というのを言うてはったんですけど、ブースがあったのかなとちらっと思ったりもしたんですけど、ほかの区に行ったらタオルとかクリアファイルとかシールとか、いろいろと宣伝のブースが出ていたので、やっぱりまだ先の話やというのか、あと九百十何日ですか、そこら辺も貼っている区も、城東みたいに毎日1枚ずつ、あと何日というのを出している区もあるので、うちのところはそんなのはほったらかしになっているのかなというのがちょっと気にかかったの、お聞きしたいなと思います。

以上です。

【高野議長】

まず、松井まちづくり推進課長より今の質問等についてお答えをいただきます。お願します。

【松井課長】

まちづくり推進課の松井でございます。

パンフレットの配り方については各地域さんの配り方になりますので、私はちょっとこの場ではお答えはで

きないので、2つ目のテント代につきましては、基本的にはテントを使っただく折には実費弁償ということで、そのテントの費用については各地域のほうで、出店される団体のほうで負担していただいているというふうな状況になってございます。中口委員がおっしゃっておられましたように、その請求先というのは、我々も調べたんですけれども、地活協であったり、連合地振であったりというふうなところもあるというのは実態としてはございました。そうした中で、基本的には、ここに記載させていただいていることにつきましては、最初に猪原委員のときにもお話しさせていただきましたが、実行委員会形式を採っております、基本的には区民まつりの実行委員会については、まち協であったり地活協のほうで参加していただいているというふうなこともございますので、そこから出店していただくときには、桜之宮でしたら地域活動協議会というふうな形でパンフレットにご明示をさせていただいていることにしております。こちらのほうに、これをどうしても地域振興会のほうの名称にしてくれということであれば、それは変更することは可能ですけれども、今まではそういう取扱いで、地域活動協議会のほうで記載させていただいているというふうなことで取扱いさせていただいております。

あと、桜之宮だけのけものというふうなこともおっしゃっているのは、そういうことではございませんで、補助金の関係につきましては、基本的にはどの事業を優先して各地域のほうで決められるかというふうなことについては決めていただくことが優先ということになるんですけれども、ただ、中口委員、会計の担当にお知らせしていなかったということについては、これはちょっと我々についても真摯に受け止めて、今後そのような形でないように、区役所職員、まちセンも含めまして、そこはきちり今後対応させていただきたいと考えております。

あと最後に、万博のブースがなかったというふうなことにつきましては、万博のブース自身はなかったんですけど、SDGsの木ということで、今回それぞれ参加者の方に、SDGsの取組をしていただく木の横に万博の関係のご案内もさせていただいておりますので、そこに行っていた方には、少しですけれども、そういった啓発活動についてもさせていただいていたということでご報告させていただきたいと思います。

以上でございます。

【高野議長】

ありがとうございました。

パンフレットの配り方というご質問があったので、協議会の方でもどういうふうに配るかというのをお答えいただける方が全員じゃないかなとも思ったんですけれども、私、協議会じゃないので分からないんですけど、パンフレット等については回覧板で回ってきて、一部ずつ取ってくださいということだったので、友渕についてはそうだったんですけれども、池田委員は、友渕はどういうふうに決めたかご存じですか。

【池田委員】

各町会の各家のポストに入れました。町会長が。全戸ポストに入れていきました。

【高野議長】

友渕、25町会あって……

【池田委員】

だから、私13町会ですけれども、13町会に限っては町会員さんに全員入れていきました。

【高野議長】

友渕でこれをしようと決まったわけではないんですね。

【池田委員】

各町会、単一の町会によっては違った形でやっておられるんですけど、大体皆、各町会のポストに入れるということを、原則的にはそういうふうになっていったと思います。

【高野議長】

時間の関係もありますので、全員にお答えいただくとすごく時間がかかってしまうんですけども、こういうアイデアでやったとか、何か意見とかおっしゃっていただける方がいれば挙手でお願いします。特になければ、多分いろいろ町会で考えられたということなので、それで。

中口委員、お願いします。

【中口委員】

今皆さん言っていたように、町会単位でこれが下りてきているんです。ただ、都島は、いつも言うように5万6,000世帯ぐらいあるけど、町会加入しているのは1万9,000なんです。町会に入っていない人にはどうして配るのかというのを今後みんなで考えていかなあかんと思います。だって、僕のところも、もらった数で各班ごとに配ってねということで全部配ったから、町会の人には行っているんです。町会以外の人には、当日、案内でしかもらえていないんです。それで、今回みたいに裏のクイズなんて、こんなもん、即、その日に分かって書ける人ってどれだけおるんですかと。それやったら、このクイズの内容を広報紙に載せるなりして、みんな来てねと逆に書いといたら来るんじゃないか。この配り方自身もちょっと問題あるかなと僕は思います。

以上です。

【高野議長】

パンフレットに関しては、回覧板でうちに回ってきたので、実は過ぎてから回ってきたんです。うちに関しては、うちは6番目だったんですけど、5番目までは前日に回ってきたんですけど、翌日に回ってきたので、ちょっと回覧板で回すのも、回す時期、スタートの時期も問題だと思うんですけど、広報みやこじまが全戸配布ですので、町会に入っていない方も告知はされて、3年ぶりにあるというのは、ポストを開けた方には分かっていたと思うんですけど、パンフレットに関しては町ごとに違ったので、それでお気づきになる方がひよっとしたら遅かった可能性はあるなという感じはしました。

松井課長、お願いします。

【松井課長】

まちづくり推進課の松井です。

今おっしゃっていただきましたように、パンフレット自身は町会単位でしかお配りできていなくて、ただ、議長おっしゃっていただいているように区広報紙で区民まつりを開催するということについては全ての世帯の方にはお知らせはできていた状況ですけど、ただ、中口委員おっしゃられるようにクイズについてはこのパンフレットを見ないと分からないのではないかなというのはごもっとものご意見だと思いますので、その辺は少し来年度の考え方についても本日の意見を踏まえまして検討させていただきたいと考えております。ありがとうございます。

【高野議長】

ということなんですけれども、よろしいですか。

では、お願いいたします。谷委員。

【谷委員】

淀川です。

事業内容についての安全・安心のまちづくりの環境美化推進と書いてあるんですけれども、ちょっとそれは話が変わるんですけれども、私、都島区振興町会の女性部長もさせていただいてまして、今度の来月の11月10日の日に、9連合があるんですけど、その後、女性部長と副部長全体で、都島区の防災担当の方と避難所についての勉強会を、私になって初めて開催させていただくんです。9連合の女性が全員集まるということがまずないので、そこでどんな意見が出てくるのか分からないんですけれども、今ちょっと防災について、今までは男性がほとんど動いている形だったんですけれども、やはり日中というのは女性がメインなので、女性の目線からというのが全く議論されていないので、今回、今年初めてそういう勉強会を開催させていただく運びとなりました。それでなんですけれども、できたら都島区の関係のそういう諸団体の方の女性職員の方とか、あと区役所の女性職員の方々も、私たちの地域のそういう会議の勉強会に参加していただけたら、いろんな意見が出て、防災・防犯にもつながっていくんじゃないかなと思うんですけれども、それはどうでしょうか。

【高野議長】

ありがとうございます。今のご質問について、お答えいただける担当部署。この件についても細谷防災地域活性担当課長にお答えいただきます。

【細谷課長】

手広くお仕事させていただいております。

ただいまの谷委員のご意見ですけれども、ちょうど夕方、危機管理のほうから文書が来てまして、危機管理の文章では、避難所のリーダーや副リーダーに女性と男性を配置するなど、女性がリーダーシップを発揮しやすい体制を確立するようしるか、女性の視点を踏まえた避難所開設運営訓練を実施しろ、災害時に確実に女性の視点を踏まえた避難所開設運営が行われるよう、地域における勉強会やワークショップ、訓練等を通じて、その必要について十分に周知し、浸透を図ってくださいというのが、ちょうど夕方6時ぐらいに、ちょうど同じようなタイミング、まさにというタイミングでメールが送られてきて、我々、防災担当、取り組んでいかなあかなと心を感じたところなんですけれども、まさに谷委員がおっしゃるとおり、例えば熊本地震があったときに、避難所で、やっぱり今よく性被害と言われるものがありますけれども、そんなことがあったりして、そんなことも含めて、熊本市の職員が50の証言というようなレポートをつくったりしてはります。また、東日本大震災の後、いろんな災害があつて、内閣府の女性職員が、内閣府防災女子の会というのを形成されて、そこからの提言というようなレポートなんかも出されております。まさに谷委員おっしゃったとおり、今まで男性が主導というか、男性中心で避難所なんかを運営されたり、計画なんかを練られてきたんですけれども、女性の意見なんかをどんどん取り入れていかなあかなということで、大阪市のほうも進んでおります。

そういう意味でいいますと、谷委員おっしゃったとおり、女性部長だけでなく、いろんな女性が集まって、都島区のために防災について考えていくような場ができればすばらしいなと考えております。

以上です。

【高野議長】

ありがとうございました。

【細谷課長】

職員。区長、逆にどうでしょうか。

【大畑区長】

経緯は、もう少し詳しく説明しますと、八尾先生いらっしゃいますけど、市会で議員の先生から、やっぱり女性の視点に立った避難所の運営というのが必要じゃないかというのを市会議員の先生からいただいて、我々24区の担当の朝川副市長のほうから区長会議でも、とにかくそれを考えて、避難所の設営訓練、そこで必ず女性の視点。今、性被害の話がありました、あと物品とかも生理用品がなかったりとか着替えがなかったり、あるいは更衣室の関係、そういうのをちゃんと女性の視点で、何が避難所に必要かというのをしっかり考えなさいということだったんです。ただ、私のほうでまだすり合わせができていなくて、運営当日の、誰が出席して、どういう運営の形にするかというのは、まだちょっとすり合わせができていなかったもので、少し今日ご意見いただいたので持ち帰らせていただいて、ちょっと担当とも、あるいは職員が出勤が可能かどうかも含めてご検討させていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

【高野議長】

ありがとうございました。

それでは、今、3点について、1と2についてご質問等があったんですけども、この桜ノ宮ビーチの魅力を広めることに関してアイデアとか意見、ご質問がありましたら。ほかの前の2点でもいいんですけども、3についてもまだ出ていないので、ありましたら挙手にてお願いします。早光副議長、お願いします。

【早光副議長】

早光でございます。

3の明日に誇れるまちづくりで、私は常々美しくないと言っているんですけど、三方を都島区は川に囲まれていまして、淀川、大川、寝屋川ということで、大川沿いは親水公園であって、緑道がずっと川に沿ってありまして、その途中に桜ノ宮ビーチがあるんですが、先ほど三井課長から言われました利用について、もうちょっと活用していきたいというふうな話が出まして、先日、桜ノ宮ビーチフェスティバルというのが開かれたと思うんですけども、ユーチューブに載せられているのは一番新しい、今年のやつですか。2分弱ぐらいの。あれ、すごくいい宣材映像だと思うので、ほとんどのここの委員の方は見られていないかなと思いますので、もし2分ぐらいのお時間頂戴できるんだったら流していただくことは可能でしょうか。

【高野議長】

今、準備をしていると思います。今、早光副議長のほうからご提案のあったものです。

【三井課長】

少しご覧いただきながら簡単に言わせていただきますと、同志社大学の教授と、あと学生のボランティアの方10名、区役所職員も大学の方から指導を受けまして、大学の先生も、子どもたちが砂遊びを通じていろんな形で遊べるということで、知育の発達に役立つというふうな視点で取り組まれております。先ほどちらっと映

ったのがボーネルンドというおもちゃ会社の方ですけど、いろんな提供をいただいていますし、これも土台の砂が真ん中に盛ってありますけれども、あれをつくるために踏んでいるようなところでございます。そういった取組の指導を受けながらやっているところでございます。

【高野議長】

という映像でした。直近のものですよね、この映像は。

【三井課長】

そうです。10月1日のイベントのもんです。

【高野議長】

こういったものもユーチューブで発信されているということなんですけれども、ユーチューブの発信であるとか、ビーチフェスティバルの活用法とか、もっと広めていくことについて、ご意見等や何かアイデアがありましたら、どんなことでも構わないんですけれども、もうあと2つ3つぐらいご質問にお答えいただける時間、あと10分ぐらいはあるかなと思います。

谷委員、お願いします。

【谷委員】

淀川です。

このビーチなんですけれども、淀川はちょっと遠くてなかなか、本当に区民まつりに向かう途中で通過していくという感じの場所なんです。申込みの仕方も全く知らないんですよ。ここを使うには、どこを通したら借りられるとかという情報も全く、自分で検索して調べないといけないのかもしれないんですけれども、やはりちょっと端っこのほうだと、ここまで来てイベントをするというイメージが湧かなくて、もうちょっと区民まつりのようにみんながどの地域でもわーっと来れるようなことを開催していただけたら変わってくるのかなと思いました。

【高野議長】

区の直接の管轄じゃないんですけれども、提案で、区民まつりのようにできる可能性もあるかと思うので、どういったケースで区民の方が申し込んで、あるいは区民まつりのような形として何か関わるのが可能かどうか、担当部署の方にお答えいただければと思います。

それでは、三井政策企画担当課長にお答えをまずいただきます。

【三井課長】

政策企画、三井でございます。ありがとうございます。

このビーチ、先ほどご質問がありまして申し上げましたように大阪府が整備したところなんですけれども、ふだんは、朝大体8時ぐらいから、夕方6時ぐらいまでは開いておりまして、自由に使える砂場となっております。昔、貯木場だったということもあって、川から少し水を引き込んだところなんですけれども、その水と砂浜がありまして、ふだんもバレーをやられたりとか、子どもさんを連れてこられたりとか、お近くの方は特に使われている様子がございます。それだけですと近所の方だけですので、今回の件、10月1日のビーチフェスティバルについては、その開催についてもご存じなかったということでご指摘いただいたところなんですけれども、一応このイベントにつきまして広報紙のほうには掲載させていただいて、お申込みいただいて、100名定

員のところに500名ほどは申込みいただいたところなんですけれども、今後、おっしゃっていますように都島区が南北に縦長に長いところでございますので、北部のほうもこういった、全く同じようなものではありませんけれども、イベント開催などをしていければなと考えているところでございます。

国のほうが開発を進めているかと思うんですけれども、淀川大堰の開門を、万博が開催される2025年をめどにつくられているということで、今毛馬のほうでいろいろ工事を進められていると思うんですけれども、それに伴って、毛馬のところで船着場も整備されるというふうに聞いております。また、河川につきましては船着場の利用促進もできればというところもありますし、上流域の自治体のほうでは河川沿いでいろんなイベントをされていますので、今、大阪府ですとか関連する自治体、流域のほかの自治体の事例も研究しまして、そちらの毛馬のほうでもイベントができればなど。そして、そういった船着場ができるとか、新たに開門ができるとか、そういったところの周知、にぎわいづくりも図っていきたくと考えてございます。また、そういった取組の際には、全戸配布の広報紙を中心に、ホームページやSNSでも、いろんな媒体で広報してまいりたいと思いますので、またよろしく願いいたします。

以上でございます。

【高野議長】

さらに大畑区長からも今のご質問、ご意見についてお答えがあります。

【大畑区長】

少し補足なんですけど、谷委員おっしゃるように、今三井が8時から18時まで開いていけば自由に使えるということすら恐らく知らない区民がいらっしゃる。そこからだと思うんですね。ですので、今大きな気づきがありましたので、管轄はどこかと言われたら大阪府が管轄しているんです。じゃ、都島区は全然権限がないかという、先ほど江川委員がおっしゃったように、別に相談すればいろんなことをやらせてもらえますし、例えばこの10月1日の桜ノ宮ビーチフェスティバルも、都島区として砂遊びと、あとセレッソとのキックターゲットは都島区主催でやったんです。それ以外のいろんなスポーツ、ビーチテニスとかいろんなものを、地引き網とかそういうものは府が主催したりとか、いつも共催のような形でやっていて、ビーチバレーの大会も、区でももちろんお手伝いしたりとかしながら共催でやっているという形ですので、まずはこの使い方の広報周知をこれから徹底させていただくということと、ご意見いただければ共催ができますので、大阪府に言えば、そういう使い方だったらいいんじゃないかということで、区単独で使えることもできますので、ちょっとご意見いただけたらいいのかなというふうに思っていますので、よろしく願いします。

以上、補足です。

【高野議長】

では、江川委員のほうから挙手がございましたので、お願いいたします。

【江川委員】

またいつもちょっと同じようなことを言うてしまうんですけど、そもそもどこに訴求するかなので、例えば子どもを連れて行ってビーチバレーしていたら、危なくてできなかつたりすると思うので、どういう人を集めたいかをまず決めてもらったら、子どもたちが遊ぶ場所なのか、そういうスポーツをする場所なのか。もしも人が集まるのがいいんやったら、鳥取の砂丘みたいに砂で、いい砂があるんやったら砂の美術館みたいなもの

をつかって、人が集まるものをつくったらいいし、何かを決めてもらわないと、ちょっとイベント提案もしにくい。子どもたちを連れていて、普通の公園とかだとボール遊び禁止とかのところがあるところでバレーとかサッカーとかを推奨するなら、子どもを連れていってというのは危ないとは思うんです。分かれているかどうかちょっと分からないんですけど、そういうのを言ってもらえたら、こちらとしてもイベントと一緒にやりたいとかと言えるんですけど、その辺はもうちょっと詰めてほしいなどは思います。その日によって変わるとかかもしれないですけど。

【高野議長】

この件について、では三井課長にお答えをいただきます。

【三井課長】

ありがとうございます。政策企画、三井でございます。

確かに、江川委員おっしゃるようにターゲットに応じたイベント開催が必要だと思います。今、区のほうで、区のいろんな魅力の発信というのをしていきたいなど。そのためには、せっかくあるビーチ、都会の中にあるビーチというのはほかにありませんので、それを使いたいというふうに思っているんですけども、確かに、具体的に何をするとか、そのターゲットがどうというのがなかなか明確に設定できていない部分もありますので、今回、先ほど見ていただきました砂遊びでしたら、区のほうで大阪府に、この区域はこの日、貸切りにさせてねということで許可をもらって、区切って開催しておりますので、そういったボール遊びからはちゃんと隔離した上で、未就学のお子さんと親御さんに来ていただいて開催はしているんですけども、そういったしっかりと区分、ターゲットを設定した上でイベントを計画していきたいなと思ってございます。

また、ターゲットごとのイベント開催について、こういったイベントがその世代に刺さるかということも含めて考えていきたいと思っておりますので、また今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございます。

【高野議長】

ありがとうございました。今のお答えでよろしかったでしょうか。

それでは、そろそろ時間も定刻に近づいていますので、特になければ、議題（2）についての意見交換は終了とさせていただきますので、よろしいでしょうか。

では、早光副議長より最後の質問、ご提案とさせていただきます。

【早光副議長】

早光でございます。

この事業内容についてではないんですけども、実は昨日、都島区スポーツセンターで開催されていましたが、体力測定と何とか、ちょっと私、どこの主催と、どういう開催名だったのか全然分からなかったんですけども、スポーツセンターで体力測定と新しいボール競技があつて、体験でポッチャというのをさせていただいたんですけども、これは大人から子どもも楽しめると。本当に老若男女が楽しめる競技であると。体験して非常にいい経験をさせていただいたんですけども、世古口課長、どこ主催で、こういった件名と、もう少し出席者があると非常に僕はいいなと思ったので、ちょっとご説明いただいたら助かります。

【世古口課長】

昨日出席させていただきましたので。

されています団体さんは都島区スポーツ推進委員協議会さんが主催されておられました。競技名は、オータムチャレンジスポーツという内容でございます。今回、体力測定と共にニュースポーツ、今おっしゃられましたボッチャとかスリーアイズの体験会をされるということですので、保健福祉課としましても、障害者スポーツというんでしょうか、ニュースポーツの振興ということの立場から参加させていただいた次第です。

【高野議長】

今、モニターのほうにオータムチャレンジスポーツ2022都島の映像を映しております。

【早光副議長】

本当にいい企画だと僕は思いましたので、ぜひとも皆さんで参加していただいて。楽しめますので、行きましょう。

【高野議長】

ということで、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

ということなので、たくさん質問、ご意見等いただきまして、ありがとうございます。時間がございましたので、これにて終了とさせていただきます。

それでは、本日お忙しい中、大阪市会の八尾議員に長時間ご出席を賜りました。どうもありがとうございます。

では、八尾議員にお言葉、コメントをお願いしたいと思います。今マイクを持ちますので、よろしくお願ひいたします。

【八尾議員】

皆さん、こんばんは。長時間本当にご苦労さまでございます。

私がちょっと今日感じたことを1点だけなんですけれど、令和5年度事業案についてですけれど、内容については特に問題ないというか、ほぼいい内容ではあるのかなと思っています。ただ、ちょっと見た感じ抽象的なんです。どうしても概要なので抽象的な表現になってしまうのは分かるんですけれど、ただ今後、これを事業として行っていくわけですから、ここで全て課題が書かれております。この課題に対してどう結果を求めていくのか。これはできれば見える化したほうがいいのではないかな。簡単に言えば数値化というか、こういう課題があって、こういう目標を持っています。それに対してどれぐらいの進捗ができたのかというような、簡単に言ったらPDCAと言われてはいますが、そういった、皆さんにとっていいことをやっているのは分かるんですけれど、それがどう進捗しているのか、どう結果として皆さんにお示しできるのかというのが非常に重要になってくるのではないかなと思いました。そういった意味で、今後ちょっとまた検討していただければなと思っています。

以上です。

【高野議長】

八尾議員、ありがとうございました。

それでは、少しアンケートについてのご説明をさせていただきます。皆さん各委員のお手元には区政会議に関するアンケートというものを今日はお渡ししています。全体会議に関するものと、それぞれが所属されている区政会議の部会、まちづくり、あるいは教育・子育て両方に参加していただいている方もいらっしゃるんで

すけれども、そちらを、基本は今日書いてお帰りいただくのが一番いいかと思うんですけれども、非常に書く欄が多かったり、あるいは一番最後の都島区区政会議委員評価シートというのがあるんですが、こちらは令和3年度の都島区の運営方針についてご参照していただいた上で記入いただくので、それがちょっと今日お渡しできていないので、掲載のホームページ、スマートフォンをお持ちの方だったらこちらのほうから参照できるということでバーコードをつけているんですけれども、今、これをバーコードで読んだ上に、膨大になっていますので、今日中にとても書けないというご意見もあろうかと思っておりますので、ご提案として、今日書いてお帰りいただいたら一番いいんですけれども、今日絶対にご提出いただくということではありませんが、書いていただいて、またお持ちいただく。あるいは、ちょっと自己負担になってしまうかもしれないですが郵送いただく。あるいは、いいコピー機をお持ちだったら、手書きで書いてスキャンして区役所のアドレスに送っていただくと多分届くと思うので、いろんな方法があると思うんですけれども、ご自身で考えていただくか、あるいはどうしたらいいかということをお区役所に相談の上、今日書いていただくか、後日お持ちいただくかなど、方法を選択するのがよいのではないかと思いますので、そういうご提案をさせていただきます。

また、提出の期限もあるかと思うので、これ、いつまでぐらいだったら適当でしょうか。

【三井課長】

すみません、政策企画担当の三井でございます。

アンケートにつきまして、今回の区政会議資料をホームページには掲載しているんですけれども、こちらのほうは掲載もしておりませんし、今日、紙ベースでお書きいただけるようでしたらお書きいただければ結構なんですけれども、ちょっと何分分量も多いですので、メール等でお送りさせていただいたり、後日の回答でも結構でございます。またその際にはこちらのほうにご用命いただきましたらそれぞれお送りさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

提出期限のほう、また改めまして確認して……。申し訳ございません、ちょっと私の確認不足でして、次の部会、1月か2月にそれぞれ部会をまた日程調整させていただければと思うんですけれども、その際に頂けましたら結構でございます。次の部会のときに頂きまして、その次の、例年3月に開催しておりますけれども、区政会議の全体会議に間に合いましたら結構です。ですので、先ほど私のほうから本日お書きいただければということで申し上げましたけれども、まだ期間ございますので、一度お持ち帰りいただきまして、次の部会の際にご提出いただければと思います。二転三転いたしまして申し訳ございません。どうぞよろしく願いいたします。

【高野議長】

分かりました。ということなので、今日はお持ち帰りいただいて、次回の部会の会議のときにお持ちいただければというお答えでございましたので、今日はお持ち帰りください。ありがとうございました。

それでは、最後になります。最後に都島区大畑区長から、本日の会議に関しての総括コメントをお願いいたします。

【大畑区長】

長時間、皆さん、ありがとうございました。

また、すみません、アンケートに関してはちょっと不手際がありまして、指示があやふやで大変申し訳ござ

いません。大切なアンケートですので、しっかり熟読して書いていただいて、次回の部会にお持ちいただけるようよろしくお願いいたします。打合せ不足で申し訳ございません。

それから、今日いただいたご意見ありがとうございます。安心・安全なまちづくりでは、谷委員がおっしゃったようにクリーン作戦だけではなくて防災の課題というのたくさんありますので、今日いただいた意見を反映していきたいですし、クリーン作戦についても、江川委員からいただいたように、クリーン作戦の中で何ができるかというの今後考えていきたいというふうに思います。

それから、区民まつりも、今日は参加者目線からはあまりなかったんですけども、運営者目線でいろいろいただきました。3年ぶりの開催ということで、私が一番感じたのは、本当に雨か、できるかという感じだったんですけど、すごく晴れてしまったので、恐らく各地域の方々の食材とかの仕入れもそんなに量がなかったと思うんです。あと、一般の方のお店もコロナの対応で排除してしまったので、遅く来られた参加者の方が、もう何も食べるものがないとか、何も見れないというのが大変申し訳なかったかなと。近くのローソンを見に行ったら、もうローソンの品物が空の状態、皆さんおなिकासかして帰ってしまったなというのが非常に私心残りだったので、次年度は実行委員の皆様と参加者の方がもっともっと楽しかった、おなかいっぱいになった、おいしかったという形で帰ってもらえるようにしたいなという私自身の反省もあります。また、今日いただいた運営者目線でのご意見もしっかりと反映していきたいというふうに思っています。

水辺のにぎわいづくりに関しては、今日の気づきは本当にまだまだこちらからの発信が全然足りていないなというのがよく分かりました。どうやって使ったらいいのか、根本的なことが区民に伝わっていないというのが皆さんのご意見を聞いて分かりましたので、まず大阪府と調整をして、都島区として発信できる項目を整理して、こういう使い方ができますよ、こういうふうに使っていいですよというのをどんどん発信していきたいなというふうに思っています。

最後、八尾先生から貴重なご意見いただきました。確かに抽象的な表現だったり、数字がなかったりとか、あるいは課題に対しての回答がなかったりとか、そういう資料が多いですので、しっかりと課題に対して進捗状況やPDCAをしっかり回した形での資料作成というのを今後気をつけてまいりたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。

【高野議長】

ありがとうございました。

本日予定しておりました議題は全て終了しました。皆様のご協力により議事が円滑に進みましたことをお礼申し上げます。

それでは、司会進行を事務局にお返しします。

【吉村課長】

本日は、議長、副議長をはじめ各委員の皆様方におかれましては長時間ご議論をいただき、誠にありがとうございました。

次回の全体会議は来年3月の開催を予定しております。日程等につきましては、後日改めて事務局よりご案内させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和4年度第2回都島区区政会議を閉会させていただきます。本日は誠にありがとうございました。

いました。